浄土宗開宗850年慶讃事業

令和4年度

浄土宗高僧名号展

令和4年11月15日～20日
京都市美術館別館

浄土宗では、令和6年の開宗850年に向けた慶讃事業として、全国の寺院の協力を得て、高僧の揮毫による名号を一堂に集め「名号展」を開催します。今号では第２回目となった「令和４年度浄土宗高僧名号展」に出陳された24点をご紹介いたします。さまざまな形であらわされた名号に込められた想いを、ぜひ感じてください。

題字　浄土宗芸術家協会・荒木大樹

解説項目

①揮毫者　②掛け軸の大きさ（本紙）
③所蔵寺院　④制作時代
⑤揮毫者または名号の解説
※解説項目の情報は『新纂浄土宗大辞典』や、所蔵寺院への調査を基に作成。

①知恩院七十六世　福田行誡
② 縦 115センチ
横 26センチ
③妙泉寺（京都市中京区）
④江戸～明治
⑤知恩院76世、増上寺70世。明治初期の仏教危機の難局に中心的指導者として立ち向かった。親交は各宗各界に渡り、詩歌や書画などもよくした。

①増上寺三十六世　顕誉祐天
② 縦 37.4センチ
横 17.4センチ
③祐天寺（東京都目黒区）
④江戸中期
⑤増上寺36世。江戸中期に活躍した高僧で、将軍から庶民まで、生き仏として尊敬された。多くの人に名号を授与し、特徴的な丸い字体のものが多い。

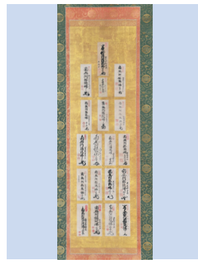
①顕誉祐天・祐海・祐益
② 縦 56センチ
横 21センチ
③稱念寺（大阪市天王寺区）
④江戸（1813年～1816年）
⑤増上寺36世・祐天寺開山祐天上人、祐天寺２世祐海上人、祐天寺３世祐益上人の３つの名号が並べられた大変珍しいもの。

①増上寺九世　道誉貞把
② 縦 33.5センチ
横 11.2センチ
③大巌寺（千葉県千葉市）
④安土桃山
⑤和泉国生まれ。大巌寺開山、増上寺９世。道誉流伝法の祖。従来の伝法を時機相応の箇条伝法に改め弟子に伝授した。

①知恩院七十三世　名誉学天
② 縦 130センチ
横 55センチ
③皆来寺（和歌山県紀の川市）
④文久２年（1862年10月）
⑤知恩院73世、光明寺95世など歴任。学問を推奨し、現在の佛教大学、東山中学・高等学校の前身である勧学所を知恩院内に設置した。

①知恩院六十六世　察誉貞瑞
② 縦 103センチ
横 26センチ
③宝台院（静岡県静岡市）
④江戸
⑤知恩院66世。増上寺で修学後、本所霊山寺21世、鎌倉光明寺86世を歴任し、文政10年（1827）７月、台命により知恩院住職となった。

①知恩院三十二世　雄誉霊巌
② 縦 87.5センチ
横 27.5センチ
③大巌寺（千葉県千葉市）
④安土桃山～江戸
⑤知恩院32世、深川霊巌寺開山、生実大巌寺３世。諸国の寺院を創建した後、寛永元年（1624）江戸の沼地を埋め立て霊岸島を築き霊巌寺を創建。



①総本山大本山・檀林住職
② 縦 119センチ
横 35センチ
③安楽寺（長野県駒ヶ根市）
④江戸（1844年頃）
⑤総本山知恩院と、関東十八檀林18カ寺を合わせた計19カ寺の住職揮毫の名号を貼り合わせたもの。

①大我
② 縦 111.8センチ
横 27.9センチ
③祐天寺（東京都目黒区）
④明和４年（1767年５月）
⑤江戸に生まれ、出自は赤穂浅野家遺臣の庶子であると伝わる。13歳で出家、その後浄土教に帰依した。この名号は、「利剣名号」と呼ばれるもの。

①大我
② 縦 112センチ
横 27.9センチ
③祐天寺（東京都目黒区）
④明和４年（1767年５月）
⑤江戸に生まれ、出自は赤穂浅野家遺臣の庶子であると伝わる。13歳で出家、その後浄土教に帰依した。この名号は、「宝珠名号」と呼ばれるもの。

①光明寺百十世　藤吉慈海
② 縦 137センチ
横 33.5センチ
③大蓮寺（京都市伏見区）
④昭和～平成
⑤ 光 明 寺110世。 昭 和10年（1935）京都帝国大学に入学。久松真一より禅思想の感化を受け、以後、生涯にわたり禅浄双修論を展開した。

①善導寺六十六世　民谷隆誠
② 縦 115.5センチ
横 31.9センチ
③若王寺（滋賀県甲賀市）
④平成４年
⑤善導寺66世。布教教化活動に多大なる功績を残した。また、華道や書にも造詣が深い。当作品はお釈迦さまの姿を模して名号を書かれたもの。

①清浄華院七十三世　加藤鏡心
② 縦 130センチ
横 30センチ
③妙泉寺（京都市中京区）
④江戸～昭和
⑤清浄華院73世。名古屋市光明寺で宗学を修め、その後、伝光寺、光明寺の住職を歴任。護法の念が厚く、称名念仏に努めた。

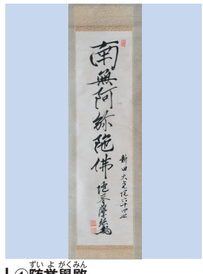
①百萬遍知恩寺三十三世　幡随意
② 縦 42センチ
横 13センチ
③宝台院（静岡県静岡市）
④安土桃山～江戸
⑤百萬遍知恩寺33世。徳川家康の命により初めてキリスト教徒の教化を行った僧として知られ、竜女を教化し、王誉妙龍と諡したと伝えられる。

①金戒光明寺五十六世　寥誉定円
② 縦 136.5センチ
横 57.5センチ
③西雲院（京都市左京区）
④文久２年（1862年）
⑤金戒光明寺56世。安政３年（1856）９月に黒谷へ入り、以後、御影堂厨子等修理、山門落慶、宗祖650回遠忌厳修等の寺門興隆に励んだ。

①増上寺八十二世　椎尾弁匡
② 縦 134.1センチ
横 32.5センチ
③妙定院（東京都港区）
④昭和
⑤清浄華院75世、増上寺82世を歴任。戦後、増上寺の復興に尽力。衆議院議員に三度当選するなど、浄土宗の枠を超えた活動にも精力的であった。

①好誉在妙
② 縦 131.7センチ
横 45.9センチ
③妙定院（東京都港区）
④江戸（1813年～1816年）
⑤増上寺46世定月の弟子。増上寺学寮に入山し修行を積み、享和２年（1802）に蓮馨寺32世となり、文化10年（1813）に常福寺57世に転住した。

①中村辨康
② 縦 130センチ
横 33.5センチ
③實相寺（静岡県清水市）
④昭和
⑤布教師養成機関の設置など後進の指導に力を入れた。また、真野正順上人等と共に法然上人鑽仰会を創立、雑誌『浄土』を発刊した。



①隨誉學愍
② 縦 120センチ
横 33センチ
③大光院（神奈川県横浜市）
④江戸（1844年頃）
⑤三重県松阪市出身。愍徴上人（大光院62世）の弟子となる。増上寺学寮主第19代・霊山寺住職を経て、明治18年（1885）大光院64世となる。

①山崎弁栄
② 縦 107センチ
横 31センチ
③延命寺（神奈川県鎌倉市）
④江戸～大正
⑤多数の著書、絵画を残し、別時念仏、全国巡教を行うなど、その生涯を、宗祖法然上人の念仏精神を現代に復興し生かすことに捧げた。

①練誉雅山
② 縦 133.4センチ
横 27センチ
③祐天寺（東京都目黒区）
④宝暦７年（1757年）
⑤増上寺山内に酉蓮社を創建。経蔵を建立して「報恩蔵」と名付け、修学僧の勉学のため、関通上人より寄付された明版大蔵経を収蔵した。

①関通
② 縦 130センチ
横 32センチ
③天光院（東京都港区）
④江戸中期
⑤16歳で専修念仏の行者となり、75歳で生涯を終えるまでに、多くの僧侶や信徒を教化した。16カ寺の寺院を建立し、著書も多数残している。

①聖阿現定
② 縦 108.5センチ
横 40.5センチ
③西方院（大阪府南河内郡）
④江戸（1810年代）
⑤當麻寺奥院41世。徳本行者十大弟子の一人。江戸末期、荒廃が進む寺をいくつも復興した名僧。特に尼僧の養育に力を尽くした。

①徳本
② 縦 135.5センチ
横 58センチ
③信重院（京都市東山区）
④江戸（1801年～1803年）
⑤一所不住で、各地で教化を行ったため、独特な字体の名号や、名号の石塔が全国に数多く残されている。また安産を願う拝腹名号が人気だった。

名号について

「名号」と一言でいってもさまざまな「名号」があります。

ただ「南無阿弥陀仏」と書かれたもの以外にも肖像画とともに書かれた名号や、悪因縁を断ち切るように鋭い字画で書かれた「利剣名号」、南無阿弥陀仏をお釈迦さまの姿に見えるように文字絵で書かれたものなど、デザイン性が高いものなどもあります。

多くの高僧や名僧と呼ばれる方々は、さまざまに工夫をこらして、独自の書風、書体の名号を揮毫されてきました。

そうした名号が、時に礼拝の対象として、時にお守りとして、またある時にはお念仏との結縁の材料として、数百年にわたりお念仏の教えを広めるためにはたしてきた役割は極めて大きいものといえます。